『中山間地域等における加工向けリンドウ産地の育成』

=滋賀県=

【全体概要】

- 〇仏花用組花の全ての花材を県産で生産するため、現在県内では市場出荷の無いリンドウ生産を推進
- ○独自性のある加工用に特化した新規格の切り花リンドウ産地を育成
- 〇リンドウ栽培は、中山間地域等の比較的夏期冷涼な気候に適するため、獣害発生地域では簡易獣害防護柵を設置し普及

新品種・新技術等の概要

〈実需者ニーズに基づくリンドウの新規格〉

- ・仏花組花向け加工に特化した、実需者が求める効率的な加工用リンドウ新規格の設定
- ・加工用リンドウの生産出荷体制の確立
- ・夏期冷涼な中山間地域等でのリンドウ栽培の推進
- ・加工用リンドウに適した短稈多収品種の導入

〈獣害発生地域でのリンドウ獣害防止対策〉

- ・獣害に比較的強いリンドウの特性を利用し、獣害発生地域での簡易防護柵設置によるリンドウ栽培の導入
- ・発生獣種別による簡易防護柵「電楽くん」「楽落くん」の検証結果に基づく普及





電楽くん(高島市)

楽落くん(米原市)

加工適性評価および新規格決定

主な取組内容

〈リンドウの新規格効率生産出荷の確立〉

- ・市場流通向け加工向切り花リンドウの新規格の設定
- ・市場および実需者による既存品種の加工適性評価
- ・栽培実証試験による短茎多収栽培技術のマニュアル作成
- ・栽培面積拡大に向けた耐暑性新品種選定

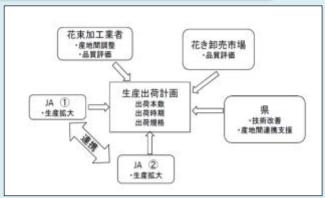
〈夏期冷涼な中山間地域でのリンドウ産地の育成〉

- 獣害発生地域での簡易防護柵導入効果の検証
- ・簡易防護柵の普及に向けた設置基本マニュアル作成
- ・発生獣種に応じた簡易防護柵設置技術の改良



市場出荷加工用リンドウ規格表

実施体制図



- ・JA間の連携による産地育成 (県)
- ・花き卸売市場および実需による加工適性評価と、評価に基づ
- く規格決定(JA)
- 新規格に沿った栽培技術改善 (県)
- ·広域栽培技術研修(県)
- ・新品種導入に向けた民間種苗 業者との情報交換(県)
- ・生産および流通・加工の三者間の連絡調整機能の導入(県)

課題と今後の対応

〈加工用リンドウ栽培技術〉

- ・マルチ栽培による実証ほを設置したが、植穴や通路の除草にかかる労力が大きいことから、防草シートの利用と植穴除草方法の見直しを行う
- ・夏期少雨により生育に影響が出たことから、潅水方法の検討を行う
- ・リンドウ産地早期育成に向け、加工用リンドウの目標切り花本数(15本以上/株)を早期に確保できる、生育旺盛な品種の導入を行う。

〈リンドウの獣害簡易防護柵〉

・リンドウは野生獣による積極的な食害は受けないが、 踏み荒らしが発生するため、「電楽くん」の防護効果は 高かった。しかし、台風によるパイプの曲がりが発生し、 強風対策を行う必要がある。

・「楽落くん」は設置や撤去が容易で積雪地域には適しているが、リンドウの草丈が低い生育初期にニホンジカによる踏み荒らし被害を受け、対策が必要である。

